



民児協 な わ て

第 120 号

発行 四條畷市民生委員
児童委員協議会

会長 山 崎 譲

編集 広 報 部 会

コロナ禍での活動



真剣な質疑応答
(在宅高齢者実態調査の事前研修)



第1回目の開催
(地区リーダー会議)



充分な間隔空けて開催
(定例会)



行政を交えて活発な議論
(理事会)



丁寧にお応えいただく東市長
(東市長との対話会)



民生委員活動を紹介
(東市長との対話会)



週に一度の移動スーパーは大繁盛
(滝木間地区)



ひさしぶりの地域活動
(塚米地区)



工夫をこらした地域活動
(砂地区)

第120号の内容

- 表 紙 コロナ禍での活動
- 2ページ 東市長との対話会
- 3ページ 研修報告
地域活動
- 4ページ 在宅高齢者実態調査が始まります。



民生委員て
何してる?



民生委員に
興味ある!



民生委員を
もっと知る。

東市長との対話会

- ③子育て世代向け活動の一環「こどん訪問事業」「子
- ②「高齢者や独居老人の見守り活動」・「各地域でのサロン活動」の取り組みについて
- ①「在宅高齢者実態調査」の実施について

民児協の出席者から左記のテーマについて説明がありました。

「民生委員・児童委員の日」に對話会を開催する運びとなりました。

市長と民児協との対話会を開催する運びとなりました。

5月27日(木)午前10時から市役所で、東市長と民児協から山崎会長と北井・小林両副会長そして中村書記の4名、ほか担当幹部職員数名が参加しました。



育てサロン事業」について
④民生委員の欠員実態と今後の担い手確保について
以上のテーマを中心にして肃々と進められました。

今回の対話会を通じて、行政側と民生委員双方がより一層の強い絆を深め協力し、寄り添って心の通う取り組みをしていくことが、不可欠であることを確認できました

最後に山崎会長から市長をはじめ松川部長並びに福祉政策課のみなさまへの謝意と今後の継続的な対話会開催をお願いして、この度の貴重な対話会を終了しました。



研 修 報 告

在宅高齢者実態調査の事前研修

7月21日(水)総合センターにおいて在宅高齢者実態調査の事前研修会が行われました。在宅高齢者実態調査の手順や目的の説明があり、訪問調査する際の色々な注意点や、過去の経験を例に出し詳しく説明がありました。私達訪問者と訪問先の方と信頼関係を築きあげることが重要なポイントであることも教わりました。そして私達民生委員児童委員には法律で守秘義務が課せられていることを改めて認識することを痛感しました。一方現実的に多種にわたり災害が多発している近年、緊急時救援活動の際、今般の在宅高齢者実態調査の情報を大いに活用したいと思つています。



地 域 活 動

コロナ禍における自粛のなか、7月から各活動が再開されました。各地区の取り組みは、高齢者向けフレイル防止の活動が中心となりました。

7月13日(火)砂公民館で「フレイル(加齢による心身が老い衰えた状態)予防について」の勉強会を行いました。講師は第一包括の方をお迎えし、元気に自立して日常生活活動を過ごせるヒントを教えていただきました。後半は筋力強化体操を全員で行い、歩くきっかけとして「100万歩運動」を無理のない程度で取り組んでもらうことになりました。お互い励まし合って、楽しく、目標を持って毎日を過ごしていただければと思います。

川口重昭

7月15日(木)「さくらんぼセンター」を開催しました。保健センターの方々と作業療法士の方に来ていただき、まず、血圧測定と握力測定と問診票記入をし、その後フレイルについてお話を伺いました。一日三千歩を目標に②タンパク質の摂取③運動等について話しました。あとは、少し体操をしていました。マスク着用、アルコール板越しでしたが、皆さん楽しかった。8月はお休みですが、次回再開出来る事をお約束し閉会しました。

塙 米 地 区



普照初枝
帰り際に「これから暑くなるけど、頑張って次回も来ますね」と言つていただき継続することの大切さを感じました。



砂 地 区

おめでとうございます

大阪府民生委員児童委員大会において下記の方々が 知事表彰をうけられました（令和3年3月31日）

金子仁恵（畠中）
中田恵子（川崎）
松岡俊生（美田）
中尾眞澄（清瀧）

高橋 たか子 (岡山)
問田 哲志 (岡山)
山崎 譲 (岡山)

内藤 壽 (田原台)
鈴木 信之 (田原台)
旭 惠美里 (田原小学校区)

(敬称略)

訃報 澤田 敬二 様

平成 25 年 12 月 1 日 就任
令和 3 年 6 月 17 日 ご逝去

生前のご功績をたたえ、謹んで
ご冥福をお祈りします。

全国民生委員児童委員連合会 会長表彰 (永年勤続退任民生委員・児童委員表彰) を うけられました

八上紀子（蔀屋）

(令和3年5月31日) (敬称略)

なあ!! 知ってはる?

まもなく在宅高齢者実態調査が始まります。
ご協力いただきますようお願いいたします。

求む！ 川柳！

※市内在住・在勤の方に限ります。
※作品は返却いたしません。
なお掲載の可否は広報部会で選考させていただ
きますのでご了承ください。

四條畷市社会福祉協議会
〒575-0043 四條畷市北出町3番1号
072(878)1210 民児協なわて 広報部会まで

市民の皆様からの川柳を募集します。
コロナ禍で市民の皆さま息苦しく感じておられ
ませんか？ ふとおかしくなる川柳、また「なる
ほど！」とひざをうつ川柳を詠んでみませんか？
四條畷市民児協では皆さまからの川柳を左記の
ように募集します。奮つてどうぞ。

3月初旬近所の独居高齢者の方で以前から少し認知症が進んでいるように感じていた人のことです。包、ケアマネジヤーと相談しながら近所の方にもお願ひをし、見守り活動を続けておりました。2日程、家のチャイムを押しても電話をしても応答がなく胸騒ぎがしました。たまたま玄関の鍵が開いていて中に入れました。部屋の電灯がついていたので、声をかけながら奥の部屋まで進んで行くと横向きに倒れておられるのを見つめ、名前を呼んでも応

とのおつき合い、人と人のつながりの大切さを身をもって実感しました。

糸!!

あの時、とつさ
家の判断で家に入つ
て良かつたと思つ
てあります。ご近所
のつき合い、声のかか

なわてコラム

答なく脈を取ると脈がありました。すぐに119番通報、ケアマネジャーにも連絡しました。それから2ヶ月の入院とリハビリで5月に無事退院できました。今までどおり